

普及活動検討会実施報告書

登米農業改良普及センター

実施月日：令和 6年 9月 3日

実施場所：JA みやぎ登米南部豊里支店、豊里町現地ほ場

1 検討内容

| No | 検討項目 |
|----|---|
| 1 | 令和6年度普及指導計画について |
| 2 | プロジェクト課題 「地域営農構想の実現に向けた営農体制整備について」 |
| 3 | プロジェクト課題 「加工用ばれいしょ生産中・長期計画策定と生産体制構築について」 |

2 検討委員の構成

(単位：人)

| 区分 | 人数 | 区分 | 人数 |
|----------|----|-------|----|
| 先進的な農業者 | 2 | 生活者 | |
| 若手・女性農業者 | 1 | 学識経験者 | |
| 市町村 | 1 | マスコミ | 1 |
| 農業関係団体 | 1 | 民間企業 | 1 |

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

| 検討項目 | 評価値 平均値 | 評価結果（コメント、評価表の要約） | 普及センターとしての対応方向 |
|-----------------|------------|---|--|
| 令和6年度普及指導計画について | 4.1 | 【普及指導計画全般】 <ul style="list-style-type: none">県の協同農業普及事業の実施に関する方針、登米地域普及指導基本方針を踏まえたプロジェクト課題設定の流れが解りにくかった。流れが見え、宮城県の農業が発展していくイメージが伝わる具体的な内容も表現したほうが思われる。農産、園芸、畜産と広い部門、品目からの課題への対応は大変であるが、限られた職員と人数でも活動内容は良く、今後もよろしくお願いたい。地域の課題に対応した計画となっている。 【プロジェクト課題】 <ul style="list-style-type: none">農村地域が抱える様々な課題に対して、毎年度プロジェクト課題として明確化し、集中的に支援することは大変素晴らしい。今後も、対象者ごとの現状と課題を洗い出し、適切な指導と方向性を示していただきたい。 | <ul style="list-style-type: none">県実施方針や地域基本方針及び地域の課題整理を踏まえたプロジェクト課題設定の一連の流れがわかるよう、次回以降、資料作成・説明を工夫してまいります。現状の体制で最大の効果が得られるよう、関係機関と連携しながら活動を進めていくとともに、今後も地域の課題に焦点を当てた普及指導活動、計画の策定に努めてまいります。プロジェクト課題計画に基づき、想定した成果が得られるよう各取組を計画的に推進してまいります。また、次年度以降も引き続き農業者や関係機関の支援ニーズを的確に把 |

| | | | |
|---|------------|---|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動を期待できる対象である。 ・古宿地区担い手経営体を対象としたプロジェクト課題は、今年度までの計画なので、しっかりとした形にしていきたい。米川地区のプロジェクト課題は長い年数をかけての計画とみられるので、体制整備をしっかり支援して欲しい。 ・圃場整備と一体なった営農体制の構築や体制整備が計画されている。着実な活動の展開を期待する。 ・登米のプロジェクト課題は、これまでの取組で達成したこと等にも目を向けるといいかと思われる。例えば、登米には、きゅうり選果場があり産地を作ってきた利点を生かして、さらなるきゅうりの面積拡大、環境制御技術の普及、後継者の育成、産地ブランド化維持の課題整理と解決策など。波及効果も高いプロジェクトになるかと思われる。 <p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の重点活動項目は、将来の登米市のあるべき農業の姿に繋がる重要なものと考える。 | <p>握しながら、課題の洗い出し、課題解決に向けた活動項目、得られる効果などを十分に検討し、課題を設定してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両課題ともに今年度が完了年となることから、担い手経営体の育成、高収益作物導入など、農地整備事業と連携した課題として計画に掲げる目標が達成できるよう、引き続き関係機関と綿密に連携しながら支援してまいります。 ・県内 1 位の規模を誇る登米市のきゅうり産地など、既存の取組の更なる発展に向けた支援も重要であると考えております。次年度以降の課題化については、関係機関の支援ニーズや課題の重要度、優先度、得られる効果などを踏まえ検討してまいります。 ・担い手の確保・育成、地域計画の策定・公表に向けた支援など、重要度の高い取組を重点活動としました。次年度以降も活動経過や状況の変化等を踏まえ、必要な取り組みを重点活動として位置付けてまいります。 |
| <p>プロジェクト課題 地域営農構 想の実現に 向けた営農 体制整備に ついて</p> | <p>4.0</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・水害が常習的に発生する地帯が、圃場整備により野菜の作付けを計画している。新たな担い手を核として、地域農業がどう進化するのかの大事業である。構想実現のため、体制整備の確立は必須であり、急がなければならない。販売先となる農協、支援にあたる行政とも連携し普及センターの活動に期待します。 ・米川地区の圃場は日当たりが悪く、大雨の際には水害が慢性的に発生する地区であることから、そのような圃場においても栽培が可能な高収益作物の調査・研究を進めていただきたい。また、地権者との協議を加速させ、計画通りに事業が進むよう、引き続き支援をお願いしたい。 ・対象の年齢、地域、場所を考えると、かなり多くの課題があると思われる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・農地整備事業の促進計画における担い手により組織された担い手法人設立発起人会では、法人が必要とされる時期から逆算して法人設立時期を設定することができた。今後は、期待される法人の役割に沿った経営ビジョンの策定など法人像の具体化が必要であるため、先進地視察や法人化に向けたロードマップの策定など関係機関と綿密に連携しながら支援してまいります。 ・今年度が課題設定上の完了年となることから、取組を進めていく中で、新たな課題等が発生した場合には、次年度にフォローアップ |

| | | | |
|---|------------|---|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・発起人が少ないことから若手の参入を今後期待したい。生みの苦しみはあると思われるが、上手に指導して導いていただきたい。 ・排水や日照等条件不利地である中で、基盤整備によりどれだけ状況が改善されるのかが心配であり、高収益作物の検討も条件に合ったものを選定すべきではないか。 ・難しい問題が多々あるように感じる。高収益作物の試作を始めているようだが、もう少し地形にあった品目を選んでみてはどうか。ねぎが良くないようなので、今広まりつつあるピーマン栽培も考えてみてはどうか。なす栽培よりはもしかして効率がよいかと思われる。 | <p>できる体制の構築を関係機関と検討してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高収益作物については、日照が少なく、水害の発生しやすい沢状の地形であることや生産者の作付意向などを踏まえながら、米川地区に適した品目の導入を支援してまいります。 |
| <p>プロジェクト課題 加工用ばれいしょ生産中・長期計画策定と生産体制構築について</p> | <p>4.1</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から支援をいただき、年々収量の向上が図られていることは評価したい。今後も反収と収益の向上が図られるよう指導・助言をお願いしたい。 ・継続的な指導により、登米市の栽培課題が見えてきた。目標収量の達成、所得の向上に取組まれたい。多収穫を狙った高畝栽培が結果として、深植え栽培になっていないか、これが大雨の時湿害を助長し、品質を低下することにならないか気になった。 ・廃棄される物も多くみられ、廃棄量を少なくする工夫と栽培管理の見直しもあっていいのではないかと考える。栽培面積が増加していくことを期待します。 ・組合活動もほぼ定着したように感じられるが、生産技術や収量向上、選別機の導入等が今後の課題であると思われる。 ・収穫機械の順番があるようで、収穫時期の遅れなどで品質の悪化が心配される。 ・前回のプロジェクト課題からの継続であるため、収支がどうであったか？所得があがるためのビジョンなどのまとめも知りたい。自分の印象では、販路が1社だけの独占ではビジネスとしてよくないと考えている。栽培面積が確保できないから選別機に投資しないのではなく、農家所得があがるビジネスにするために生食や他の加工業者に比較販売など検討をして、仮説をたてて、前向きな投資を検討してほしい。 ・登米市の主力産品になる可能性もあると思います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・県が示す目標単収 3t/10a の確保に向けて、収量性や規格品の割合を一層高めるために、登米地域の気候や土質、ほ場条件等を踏まえた栽培技術の確立を図るとともに、引き続き関係機関と連携しながら生産技術の支援に努めてまいります。 ・選別機に関しては、産地規模や生産者個々の収穫・選別の対応状況を踏まえ導入が保留されたことから、普及センターでは、機上選別の負担軽減や収穫作業の効率化を図るため、ほ場選定や土質の改善支援、収穫作業の共同化などの可能性を検討していくほか、必要に応じて機械等の導入を支援してまいります。 ・所得確保に向けては、目標単収が達成できるような技術支援を継続してまいります。あわせて、販路や販売単価の確保に向けて、生食用ばれいしょの取組事例などの情報収集に努めてまいります。 |

その他

- ・豊里町において、20代の若い女性がピーマン栽培に取り組んでいる状況を見せていただいた。自立して取組まれている様子はとても頼もしく、成功を支援し今後仲間の輪が更に広がることを期待します。
- ・ピーマン栽培を見学させていただき、とても良かったです。女性農業者が増加している中で、「楽しく」仕事をしている様子がこれからの農業にはとても大事なことと考えます。彼女達にはこれからも期待します。「明るく楽しい職業！」を目指して欲しいです。
- ・今回、視察したピーマン生産者の方のような、新たな作物や新しい栽培技術等に挑戦している若い方をもっと知りたい。ピーマン生産者の方の頑張りに応援したくなった。
- ・今日の意見でもありましたが、若い方がイキイキと新規品目に挑戦している姿、とてもきらきらしていて素晴らしかったです。できないことを思考錯誤してできることが自信につながる。そこを普及センター、JAで伴奏支援していること。すばらしいと思います。面で育成していくために、定期的（毎週、毎月など）に全員を集めた講習会を開始して技術の共有がさらに進められるといいかと思われた。
- ・あと10年で今70代の農家が80代になり、あと15年で今ある高齢者のノウハウが消えてしまう。このままなにも手を打たないと地域の農業が消滅する危機感を発信していくことも大事かと思われる。県の基本計画にある多様性。新規就農者だけでなく、企業からの出資や事業連携など幅広い視点で宮城県農業が発展する計画を検討する必要があると感じます。
- ・登米地域普及指導基本方針の関連項目である「販路拡大への取組支援」とあるが、この部分について取組が見えていないように思われる。
- ・登米市で「オーガニックビレッジ宣言」に向けて動き出しているので、有機農業の支援広報等もお願いしたい。

- ・新規就農者の確保・育成、並びに女性農業者の活躍支援を重点活動に位置付け各種取組を進めてまいりました。次代を担う人材の確保・育成は極めて重要な取組であるため、引き続き関係機関と連携しながら取組を進めてまいります。
- ・登米市の「ピーマン」は、県内有数の産地で、若い世代や女性農業者が比較多く栽培に取り組んでいます。「ピーマン」産地発展に向けて、若い世代も含めた生産者の確保、技術支援を継続的に支援してまいります。
- ・新規就農者等への技術や経営の継承が円滑に進むよう、引き続き関係機関一体となり支援してまいります。また、企業参入や食品関連産業等との連携を一層強化するため、県庁内関係課と情報共有を図り、登米地域の農業が持続的に発展できるよう努めてまいります。
- ・基本方針に掲げる「多様化する需要の変化に対応した生産・販路拡大への取組支援」として、実需者向けの「加工用ばれいしょ」や「たまねぎ」等の産地形成を支援しており、今後も継続的な支援を行う計画としております。
- ・登米市有機農業推進協議会の1構成員として、他の構成団体とともに登米市の有機農業推進に向けて支援してまいります。